

# 第3次大阪府文化振興計画について(答申案)

## これまでの文化振興会議における議論

基本的には現行計画の理念を継承・発展、アーツカウンシルの仕組み構築

## 府市の戦略の一本化、事業の融合・統合

大阪市文化振興計画(案)を府の計画と連携・共有

めざす  
将来像

自律と創意が拓く「文化自由都市、大阪」

文化は、人類の英知の積重ねにより生み出される貴重な財産であり、先人が培ってきた文化を継承し、発展。多様な文化を受容し、新たな文化を創造し次世代へ引き継ぐ。人々との生きがいや創造力の源泉である。(大阪府文化振興条例の文言を参考)

理念

4つの理念

施策の方向

基本方向A  
「文化創造の基盤づくり」

①大阪の街を使いこなす～都市全体を  
発表の場に！  
【例】挑戦したいアーティスト等への支援

②府民の思いを都市づくりに活かす  
【例】プラットフォーム手法による取組み

③府民の力で文化を育てる  
【例】個人や企業が文化振興に寄附しやすい  
仕組みづくり

基本方向B  
「都市魅力の向上」

④地域文化をもとに大阪の魅力向上  
【例】様々な文化資源を活かした都市格の向上

⑤大阪固有の文化資源を活用、創造  
【例】文化の集積とリノベーション

⑥エンターテインメントによる都市の活性化  
【例】新たな文化の創造発信と集客観光促進

基本方向C  
「人と地域のエンパワーメント」

⑦あらゆる施策に文化力を活用  
【例】アートと府民をつなぐコーディネート役の人  
材育成

⑧未来を担う次世代の育成  
【例】子どもの文化活動の発表の場の提供

⑨文化振興への府民意識の醸成  
【例】文化情報の提供、文化を引き継ぐ人材育成

推進に  
向けて

## 行政の役割

- 民間の力を最大限に活かし、文化の主役である府民の自主性、創造性が発揮されるよう、文化活動が活発に行われるようサポートする。
- 大阪市の事業との融合・統合・連携を図り、さらなるパワーアップ。
- 複数の市町村をまたがる施策や広域的な集客、都市魅力創造に関する施策は広域自治体を中心（住民に身近な施策は基礎自治体）

## 推進・評価体制

- 文化施策の評価について、実態や経験等による具体的な指標のほか、施策が与える様々なインパクトについて評価する。
- 広く深い知見を有する専門家が評価、企画、調査等を行い、計画に沿って、大阪にふさわしい文化施策を展開するためにアーツカウンシルの仕組みを構築。